

サーキュラー・エコノミー及びプラスチック資源循環ファイナンス研究会（第3回）

第一生命のESG投資

第一生命 総合審査部

竹内 直人

一生涯のパートナー

第一生命

お客さま・社会に寄り添うESG投資は第一生命の使命

第一生命グループのミッション（存在意義）

一生涯のパートナー



お客さまのQOL向上に貢献

QOL（クオリティ・オブ・ライフ）向上とは、一人ひとりが望むしあわせな人生や生き方を実現すること

第一生命のESG投資の基本方針（2020年4月公表）

- 中長期視点で幅広い資産を保有する機関投資家（ユニバーサル・オーナー）として、ESG投資を資産運用の柱として位置づけ、**運用収益の獲得と社会課題解決の両立**を目指す
- “第一生命らしい” ESG投資として、「**ポジティブ・インパクトの創出**」や「**エンゲージメント**」に力点を置いた取組を推進

① 全資産の運用方針・運用プロセスにESGを組込（2023年度完了を目標）

運用収益獲得と社会課題解決を両立する資産ポートフォリオの構築

- 各資産の運用方針やポートフォリオ構築プロセス、社内投融資ランクへのESG要素組込により、全資産で気候変動リスク等を踏まえた投資判断を実施し、ESGリスクの低減・機会の収益化を通じて、中長期的なポートフォリオのレジリエンスを強化
- 社会の持続可能性の観点から高いリスクを有するセクターへの投融資を禁止（特定の兵器製造企業、国内外の石炭火力発電・石炭採掘事業）

② 当社が設定する重点的な社会課題の解決に向けた投融資（2023年度迄に累計投資金額を倍増以上）

社会課題解決に資する資産への投融資を通じて社会へのポジティブ・インパクトを創出

- グリーンボンド・ソーシャルボンド等のSDGs債や国内外の社会インフラ整備に資するSDGs事業等に積極的に投融資
- 革新的なイノベーションの創出に向け、成長企業・ベンチャー企業への投資（インパクト投資）を拡大

重点的な社会課題

QOL向上

貧困撲滅・格差是正・個人資産形成・健康寿命延伸・女性活躍等の推進、各種イノベーションの創出を促進

気候変動の緩和

再生可能エネルギーの普及等の低炭素社会への移行促進、革新的な環境イノベーションの社会実装支援

地方創生・地域活性化

地域産業の成長・事業創出支援、産官学連携による地域活性化への貢献（街づくり等）

- 社会的インパクトのモニタリング手法を確立し情報開示を強化（当社運用ポートフォリオのCO2排出量や、投融資を通じたポジティブ・インパクト創出量について検討）

③ 投資先企業のESG取組促進に向けたスチュワードシップ活動

投資先企業との対話（エンゲージメント）を通じて、社会課題解決に向けた企業の前向きな取組や行動変容を後押し

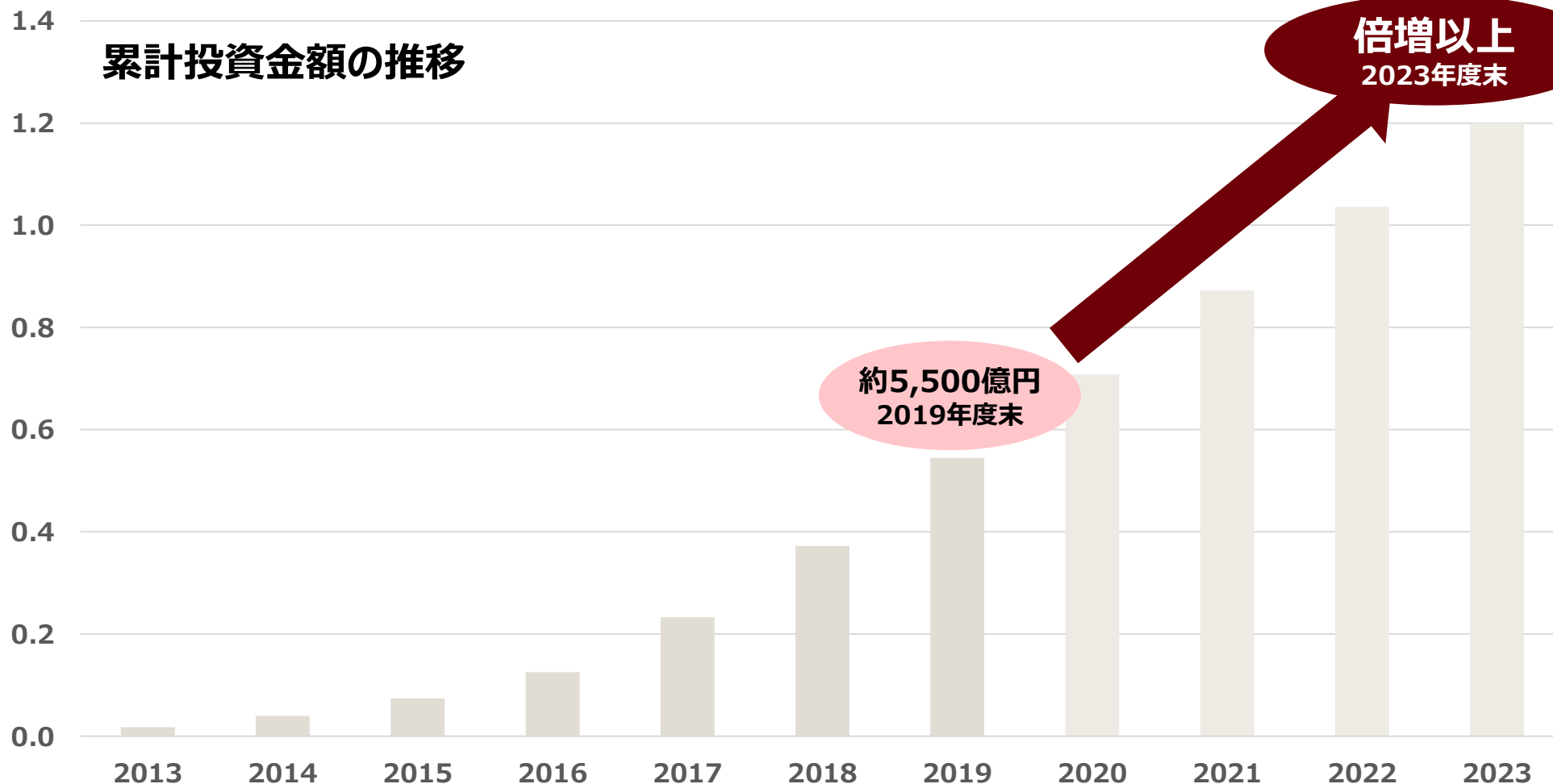
- エンゲージメントの主要テーマとして「ESG取組」を設定し、投資先企業のESG課題に応じた情報提供および解決策の提案を実施
- 「気候変動の緩和」に向け、企業の気候変動取組の促進や、気候変動がもたらす財務インパクトを含めた情報開示を促す
- 投資先企業を含む社会全体への影響力の発揮に向け、国内外の協働エンゲージメント団体やイニシアティブ等へ積極的に参画
- 成長ステージ毎に異なる投資先企業の課題に寄り添ったエンゲージメントを通じて、対話内容も踏まえた適切な議決権行使を実施

2023年度末までにESGテーマ型投資を倍増

- 「QOL向上」・「気候変動の緩和」・「地方創生・地域活性化」を中心とした投融資の累計は約5,500億円に到達
- 更なる社会へのポジティブ・インパクト創出に向けて、2023年度までに投資金額を倍増以上に拡大

(兆円)

累計投資金額の推移



(環境認識) ESG関連の国内外の潮流

- G20議長国として、「気候変動」に加え、「海洋プラスチックごみ問題」、「インパクト投資」の積極化を表明
- 2020年に日本で初開催されるPRI年次総会に向け、政府としてのコミット・関与が強まる可能性

① G20大阪サミット (2019/6)

気候変動

- 首脳宣言において「パリ協定の署名国は同協定の完全な履行についてのコミットメントを再確認」したことを言及。IPCC1.5℃レポートにも言及しつつ、「具体的かつ実践的な行動を起こす重要性」を指摘。

海洋プラスチックごみ問題

- 世界共通のビジョンとして、**2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロとすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」**を共有
- 安部総理は「途上国の廃棄物管理に関する能力構築・インフラ整備等を支援」と表明

インパクト投資

- 安部総理は「日本は地球規模課題の解決に必要な資金確保のため、**社会的インパクト投資を含む多様で革新的な資金調達**の在り方を検討し、**国際的議論の先頭に立つ考え**」であると表明

② TCFDサミット (2019/10)

- 日本の賛同企業による「TCFDコンソーシアム」を5月に立ち上げ（経産省・金融庁主導）
- 産業界と金融界の対話を通じて「グリーン投資ガイダンス」等を作成し、サミットにて世界に向けて発信・共有

③ PRI年次総会 (2020年)

- 2020年度のPRI年次総会は東京で開催（リードスポンサーはニッセイアセットマネジメント）

ESGテーマ型投資の取組方針

目的

- 収益性の確保を前提に、ESGの課題解決に繋がるテーマを持つ資産に幅広く投資を行うことで、投資リターンの獲得と社会課題解決の両立を目指す

① 重点テーマを中心に、投資商品・手法の多様化にも取組みつつ積極投資

- ✓ 「QOL向上」・「地方創生・地域活性化」・「気候変動」のメインテーマに、「プラスチックごみ」を新たに追加
- ✓ 「インパクト投資」をはじめ「SDGs債」「SDGs事業」の投融資を推進しつつ、新たな投資商品・手法にも積極的に取組み
 - 特に直近で議論が加速している、脱炭素を支援する「トランジション・ファイナンス」も積極推進

【新たな投資商品・手法】

トランジション・ファイナンス	炭素集約型産業等の脱炭素化を支援するための新たな投資商品（資金用途はトランジションに資する目的のものに限定）
SDGsリンク債・サステナビリティリンクローン	設定されたESG目標（CO2削減等）の達成状況により金利が変動（資金用途の限定なし）
ポジティブインパクトファイナンス	国連のポジティブインパクト金融原則に準拠、環境・社会にもたらしたインパクトの公表・報告義務あり（資金用途の限定なし）
ソーシャルインパクトボンド	民間資金を活用して社会課題解決型の公的事业を展開し、その事業成果を配当支払原資とする、新たな官民連携手法

- ✓ 「地方創生・地域活性化」に関しては、関連所管との連携を強化しつつ、不動産投資・開発を通じた街づくりに取組み
（例）スマートシティ構想／地産地消型の再エネ開発／産学連携による事業創出

② 社会的インパクトのモニタリング高度化

- ✓ インパクト投資・SDGs債に加え、SDGs事業への投融資でも社会的インパクトのモニタリングを検討
- ✓ インパクト計測手法の統一化・標準化を行い、ポートフォリオレベルでの体系的な社会的インパクト計測を検討

Henkel社が発行する廃プラスチック削減債への投資

2020/7
投資

世界初となる「廃プラスチック削減債」への投資

～第一生命・第一フロンティア生命の共同投資（約74億円）による廃プラ削減への貢献～

ドイツの世界的大手消費財メーカーが発行する社債への投資

- ✓ 世界最大の接着剤メーカー
- ✓ 家庭用洗剤やシャンプー等の生活用品をグローバルに販売
- ✓ 廃プラ削減に向けた国際的アライアンス(AEPW)の創設メンバー



調達した資金の使途を廃プラスチック削減目的に限定した世界初の社債

- ✓ 商品のリサイクル性の向上や、製造過程におけるプラスチック素材使用量削減の取組に充当

投資意義

<投資リターンの獲得>

- 利回り：年1%台前半
- 期間：5年

+

<社会課題の解決>

- Henkel社の廃プラ削減に向けた取組を資金面からサポート
- 関連業界における廃プラ削減取組拡大への波及も期待

本件投資による波及効果

① Henkel社が「廃プラスチック削減フレームワーク」を新たに策定（20年3月）

- ◆ 第一生命からの働きかけにより、社債発行実績の少ないHenkel社の資金調達ニーズ引き出し
- ◆ Henkel社の廃プラ削減目標達成に向けて、継続的に資金調達できる枠組を整備

② 新しい投資分野・投資スキームとしての認知度向上（市場の開拓？）

- ◆ プレスリリース後、国内外の証券会社から多数の反響

- プレスリリースを見て、投資案件としての「質の高さ」にフロア中がざわついた
- 取組の意義が分かりやすく、業界関係者に加え、学生等の若い世代にも訴求力のある取組
- 本件をベンチマークとして、同様の商品開発に取り組みたい
- 他の機関投資家からの問い合わせも多く、本件に対する評価・関心は高い

- ◆ 新聞・雑誌等でも多数記事に掲載（予定）

- 読売新聞、大和証券レポート、日経ESG、日経ヴェリタス 等

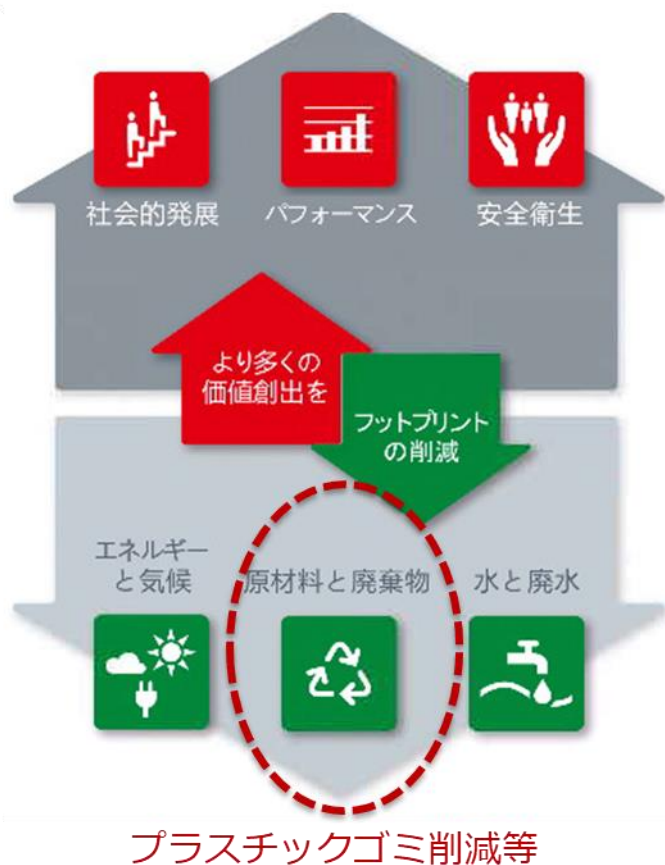
新しい投資分野・市場の開拓に寄与し、関連する投資案件の持込も増加傾向（好循環）

(参考) Henkel社のサステナビリティ・フレームワーク *1

サステナビリティ戦略

サステナビリティにおけるリーダーシップに注力し、**環境負荷（フットプリント）を削減しつつ** 消費者・顧客・事業展開先の地域コミュニティ・自社にとってより大きな価値を創出する

6つの注力分野における貢献



サステナビリティに関する主なターゲット

～2030年

事業の効率性*3倍
(*環境負荷あたり創出する価値)

～2025年

包装材
100%リサイクル・再利用可能

石油由来プラスチックの使用
50%削減

自然環境へのごみ廃棄ゼロへの貢献

**本債券の資金が投下される
プロジェクトは当該目標にリンク**

*1 Henkel社ウェブサイト・プレスリリース等から抜粋して作成

(参考) 資金使途とモニタリング項目

- ・ 廃プラ削減債への投資を通じて得られる具体的なインパクト（廃プラ削減量等）を年次でモニタリング予定



SDGs 12
持続可能な消費・生産



SDGs 14
海洋資源の保全

使途

具体的な活用例*1

モニタリング項目

Henkel社が製造する商品の
リサイクル性向上

完全再利用可能な包装用素材の導入

例：メチランブランドの不織壁紙用のりの
パッケージは100%リサイクル可能



ボトルのリサイクル性向上

例：炭素粒子を含まない着色剤により、近赤外線
を用いたリサイクル時の仕分けが容易に



製造過程における環境負荷の
少ない素材の使用率向上
(石油由来プラスチック使用削減)

再利用プラスチックやリサイクル素材を 用いたシャンプー・洗剤ボトルの開発

例：ドイツ国内におけるすべての液体洗剤Prii5の
ボトルに100%再生プラスチック素材を使用



例：ヘアケア製品シャウマ特別仕様品のボトルと
キャップは100%再生プラスチックで製造



プロジェクトにより削減
されたプラスチックゴミ

・
再利用・リサイクル可能な
包装の割合

・
包装に占める
リサイクル素材の使用割合

等の予定

*1 Henkel社ウェブサイト・プレスリリース等記載の同社取組実績を用いて作成した活用例のイメージ

(参考) 廃プラ削減に向けたその他の投融資事例

2020/3
投資

国内生保初となる「サステナビリティ・リンク・ローン」への融資
～プラスチックごみ削減に向けた事業構造の転換（トランジション）を後押し～

□ PET樹脂事業を展開する世界最大手の化学メーカーに対する融資

- ✓ ペットボトルの原料のPET樹脂事業において世界シェア約20%を占めるインドラマ社（タイ）
- ✓ PET樹脂は100%リサイクル可能だが現状のリサイクル規模は低水準
- ✓ 同社はリサイクル事業にも注力、2025年までにリサイクル水準の大幅向上を目指す

□ サステナビリティ・リンク・ローンは、**サステナビリティ目標の達成状況によって金利が変動**

- ✓ 借入企業の実績・行動変容を後押しすることで、持続可能な経済活動を促進する先進的商品
- ✓ 本件では第三者機関の算出するサステナビリティスコアを目標点数以上に引き上げた場合に金利を引き下げ

第一生命は本投資を通じて、インドラマ社のリサイクル事業をはじめとしたサステナビリティ取組みの更なる推進の動機付け、**プラスチックごみ削減に向けた事業構造の転換（トランジション）を後押し**



(参考) 国際開発金融機関等が発行するSDGs債投資事例

SDGs達成に資する事業を推進する国際機関・企業等への資金提供
(グリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド等)

欧州

合計 約2,100億円

- 1** 貧困をなくそう
マイクロファイナンス・ボンド (欧州復興開発銀行)
• 途上国の中小・零細企業への事業資金支援
- 3** すべての人に健康と福祉を
ヘルスボンド (欧州復興開発銀行)
• 中東欧等の医療サービス向上支援
- 13** 気候変動に具体的な対策を
環境保全債 (欧州復興開発銀行)
• 中東欧等の再エネ事業等の支援

アジア・太平洋

- 3** すべての人に健康と福祉を
ヘルスボンド (アジア開発銀行)
• アジア太平洋地域の保健衛生支援
- 5** ジェンダー平等を實現しよう
ジェンダーボンド (アジア開発銀行)
• アジア・太平洋地域の女性活躍支援
- 3** すべての人に健康と福祉を
ヘルスボンド (アジア開発銀行)
• 新型コロナウイルス感染症対策支援

アフリカ

- 2** 飢餓をゼロに
フィード・アフリカ・ボンド (アフリカ開発銀行)
• アフリカの農業・農業ビジネス支援
- 9** 産業と技術革新の基盤をつくろう
ライト・アップ・アンド・パワー・アフリカ・ボンド (アフリカ開発銀行)
• アフリカの電力・エネルギーインフラ整備の支援

世銀グループ

- 8** 働きがいも経済成長も
インクルーシブ・ビジネス・ボンド (国際金融公社)
• 低所得者層のビジネス参画への支援
- 13** 気候変動に具体的な対策を
グリーンボンド (国際復興開発銀行)
• 気候変動の影響の緩和・適応に向けた事業の支援
- 3** すべての人に健康と福祉を
ワクチン債 (予防接種のための国際金融ファシリティ)
• 新たなワクチン開発の支援
- 2** 飢餓をゼロに
サステナブル・ディベロップメント・ボンド (国際復興開発銀行)
• 食品ロス・廃棄問題への取組の支援
- 14** 海の豊かさを守ろう
サステナブル・ディベロップメント・ボンド (国際復興開発銀行)
• プラスチック廃棄物による海洋汚染問題への取組支援
- 3** すべての人に健康と福祉を
サステナブル・ディベロップメント・ボンド (国際復興開発銀行)
• 新型コロナウイルス感染症対策への取組みの支援
- 3** すべての人に健康と福祉を
ワクチン債 (予防接種のための国際金融ファシリティ)
• 新型コロナウイルス感染症のワクチン開発支援

日本

- 13** 気候変動に具体的な対策を
東京グリーンボンド (東京都)
• 東京都のスマートシティ化の支援

ラテンアメリカ、カリブ海諸国

- 4** 質の高い教育をみんなに
EYE ボンド (米州開発銀行)
• 教育、若年層支援、雇用支援